

---

# SAO二次創作。練習。

漆黒の馬鹿

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

S A O 一次創作。練習。

### 【NZコード】

N1945N

### 【作者名】

漆黒の馬鹿

### 【あらすじ】

書きたかったので書いた。

原作のキリトとクラインの出会い。

Webでは描かれてた気もするけど  
オリジナル的なのを書こうと思つ。

この短編をISの方の設定作りに協力してくれた  
My market（名字）で博斗（名前っぽい）な友人に捧ぐ。

…かもしれない。

## (前書き)

SAOの一次創作。

クラインとの出会い。篇の出だしはこんな感じかなあ、と。

設定はあとがきにあります。

注意(?)

作者はSAO : ME 1 , 2 , 3 , 4 , 5 , 6 , 7 を読んでいません。  
また、アリアも諸事情あって読めませんでした  
本作品中ではKIRITOがSACHIたんLOVEな状態に陥っています

EPISODE EX クライインとの始まり。SIDEキリスト 出  
だし篇。

「おう、キリストじゃねえか」

後ろからそんな声がかけられたのは

エギルの店で手に入れたアイテムを換金していた時だつた。

「クライインか。久しぶりだな」

「そうさな、この前会つたのが一週間前じゃなかつたかいよ? 口調は非難がましく、だが対照的に野武士面をゆがませて声の主、カタナ使いクライインは笑い答えた。

「そうだな。あのあとはしばらく外で野営していたからな」「野営? そりやなんでだ。キリストよお」

クライインは頭に疑問符を浮かべて聞いてくる。  
感情表現が少々オーバーはこの世界でも、  
さすがに実際に疑問符が浮くわけではないが  
そんな印象をこちらは受ける。

「そこは察してくれよ。

サチのいないこの世界なんてな…」

「あ、ああ。悪かつた。

以外に元気そうだったから思わず、な  
クライインの表情が今度は自責でゆがむ。  
「ははっ、冗談。

あのあとサチのメッセージボイスを聞いてな、

希望があるつてことがわかつたんだ

「な、なにー？それは本当か？」

「この世界で死んだら向こうの俺らも…。

あの野郎も最初に言ってたじじゃねえかー」

今度は驚愕。

「口口口口と面白いやつだ。

「まあ、それについては今度話すとして」

「ま、まて。それは俺も興味があるぞ」

ずっと黙っていたエギルが入ってくる。

「話を進めるぞ。

それで、野喰していた時にな、お前との出来事を思に出したんだ」

「出合い?なんだつたかな。もつおつやあおぼえてねえぜ?..」

やつぱりか。

この野武士面にほその程度がちょいどこい。

「ほう。それはそれで面白そうだな。俺にも聞かせてくれないか?..」

「いこぎ。

「いこぎ。」

「うだな…。たしかあれは二一層のことだったな……」

## (後書き)

作者（以下漆「ふつ。書き終わった。

キリト（以下和「なにがだ。結局何も書いてないじやんか

漆「だつじや。これ以上書くとボロがでやうだ…

和「最初からもつと設定を練れよ！

漆「まあまあ、いいじゃん。今度ちゃんと書く予定だからさ。

和「よくないからな。

漆「！」で設定紹介～！！

和「スルーすんなよ！

設定。

大筋はWEB版準拠。

そのためクラインとの出番には2-1層が初めてとなる。  
時系列は赤鼻のトナカイのサチが死んでから1週間後。  
蘇生アイテムがあるといつ）都合主義。

一応そのアイテムにも落ちと言つかなんというかがある。  
原作で茅場がやろうとした脳のペッパーの応用のつもり。  
(おつ主の出る一次を書こうと思ひのや。)

漆「いつか続きを出せたらいいと思こますので  
宜しくお願ひします。

和「なにを直しくするんだよ！  
ていつかいつか出すんだつたら今すぐ出せよー。

漆「このあとがきでは作者の力量不足により、  
キャラが崩壊しています。

和「道理で。俺が俺じゃないような感じがすると思ったわけだ。

完。

漆「といひで作中で言つてたペルソナ・セツ　サービスって何？

和「そういう話題はノクタでやろうか。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n1945n/>

---

SAO二次創作。練習。

2011年9月29日20時26分発行